

美原工場を活用し、新商品の開発にも注力 オーハツ株式会社 取締役 松尾圭造 氏

設立75周年を迎えたオーハツ株式会社（代表取締役社長・芝谷康二氏、大阪府富田林市）。オーハツグループの念願であった新生産拠点「美原工場」が、大阪府堺市美原区平尾2405番地1に平成30年12月10日付けで竣工しました。オーハツ株式会社取締役の松尾圭造氏に今後の抱負を伺いました。

——オーハツ株式会社の主力製品は？

松尾氏 オーハツは主力製品として、ディーゼルエンジン、ガスエンジンを搭載する「非常用自家発電設備」単体と、制御盤、自立盤などの「装置・部品」単体の設計・製造・販売を行っています。

なお、現在実証中ですが、出力5kW~20kWの小水力と、出力300W~500Wの小型風力の発電設備の設計・製造も自社で一貫して手掛けています。

——オーハツ美原工場の特徴は？

松尾氏 オーハツは2つの賃貸工場を廃止し、その代替工場として、美原工場を新設しました。美原工場の特徴は2点です。従来の賃貸工場に比べ、非常用自家発電設備、制御盤、自立盤などの製品組み立てラインの効率化と生産性の向上を図った点。製品の検査機能の強化と効率化を図った点です。

——美原工場における取り組みは？

松尾氏 オーハツは、お客様ニーズの調査を行い、ニーズを反映させた新製品の商品化開発を進めています。美原工場では、防災用を含めた非常用自家発電設備単体と、搭載される制御盤、自立盤などの装置・磁石式発電機・部品単体の設計・製造に注力していきます。具体的にはディーゼル発電設備の場合、出力範囲は5kVA~625kVAまでを製品ラインアップとして掲げており、販売拡大に注力していきます。

今後、美原工場が備える最新の生産機能及び検査機能と、設立以来オーハツが防災用と非常用の自家発電ビジネスで培ってきた技術力を活かし、バッテリーとインバーター給電装置を組み合わせた屋外用

バックアップ電源などの停電対策用新商品の開発にも積極的に取り組みたいと考えています。

——ガス発電設備への取り組みは？

松尾氏 現在取り扱うガスエンジン発電設備は燃料にLPガスを使用する出力36kW（50Hz時）1機種のみです。始動方式は電気始動方式を採用し、平成28年10月16日付けで「防災用自家発電装置」の認証を取得済みです。

米国コーラー社のオープンセットで、オーハツが日本仕様向けに設計・製造を担当し、三友工業株式会社（兵庫県尼崎市）が据付工事・メンテナンスを担当しています。

——オーハツグループの取り組みは？

松尾氏 美原工場には、子会社の「有限会社テクノコンゴ」の本社・生産工場も入居しています。主な事業として、オーハツが販売した非常用ディーゼル発電設備のメンテナンスサービスと部品販売に取り組んでいます。

新規事業として、テクノコンゴは、保安用・業務用電源である「非常用LPガス発電設備」を単独で販売開始しました。

米国ブリッグス&ストラットン（B&S）社より「汎用エンジン」を、オーハツより「発電体」をそれぞれ供給を受け、美原工場において、日本仕様向けに非常用LPガス発電設備の運転調整を行っています。病院・工場・事業所などに対し、積極的に売り込んでいきます。

平成30年度の売上高目標はオーハツ株式会社単独で21億円を掲げています。